

事務事業評価シート 平成 30 年度事後評価・決算

令和 2 年 2 月 21 日時点

事務事業名	コード	26700	商工業振興事務費	予算科目	会計	款	商工観光課		担当班	商工労政班	
					一般	7	項	目			
		①	(商業関係団体への支援)(異業種間交流の促進)				1	2			
施策体系	基本施策	2	商工業の振興	根拠法令	旭市補助金等交付規則					事業種別	☒ 主な事業
	施策の展開	4	商業の振興	戦略事業	27	商業関係団体への支援					☐ 国土強靱化地域計画
				戦略事業	32	異業種間交流の促進					☒ 新市建設計画
											☐ 定住自立圏構想
											☐ 主要事業

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない									
単年度繰返		【商工会運営費等補助金】旭市商工会に運営費等の補助金を交付(支出)する事業。									
昭和 35 年度～		※旭市商工会は、「商工会法」に基づき設立された、市内の商工業の総合的な改善・発達の中心的な役割を果たしている経済団体。									
開始年度不詳		(会員数 1,582 事業所)									
期間限定複数年度		【異業種間交流事業】「地域振興交流会」と題して講演会を行い、市内の経営者などが一同に会し、意見交換等を行う事業であり、例年、毎年1月に実施している。									
平成 年度～											
平成 年度まで											
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状				④ 事務事業に関する課題・環境の変化				⑤ 事務事業に対する住民からの意見等			
地元の商業者、工業者を支援することにより、地域商業の活性化を図るため。				景気の低迷、事業所数の減少、事業主の高齢化・後継者不足問題等。				【商工会】商工会組織の機能強化の推進(計画あり)			
異業種間交流事業については、経営者間の連携を図り、地域産業の活性化を図るため、平成2年より実施されている。											

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(30年度の決算)		単位:千円									
1. 商工会育成補助金	0										
2. 商工会運営費	15,270	経営改善普及・指導事業費、地域総合振興事業費、管理費等									
3. 商工会館修繕	0										
4. 地域振興交流会費	368	講演会講師派遣委託費、会場借上料、チラシ印刷費									
② 特定財源の内訳(30年度の決算)		単位:千円									
1. 国庫支出金	0										
2. 都道府県支出金	0										
3. 地方債	0										
4. その他	0										
前年度増減理由											

単位	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(予算)
1. 商工会育成補助金	0	0	0	0	0
2. 商工会運営費	15,270	15,270	15,270	15,270	15,270
3. 商工会館修繕	0	0	0	0	0
4. 地域振興交流会費	242	427	437	368	489
事業費計(A)	15,512	15,697	15,707	15,638	15,759
1. 国庫支出金					
2. 都道府県支出金					
3. 地方債					
4. その他					
5. 一般財源	15,512	15,697	15,707	15,638	15,759

従事職員数 常時 1 人 最大 5 人 × 1 日 = 延べ 5 人

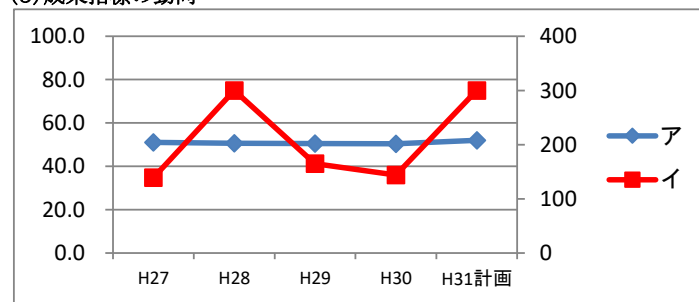
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

① 主な活動		③ 活動指標名									
30年度実績(30年度に行った主な活動)		単位									
・商工会への補助金交付		27年度(実績)									
・補助金要望に関する市・商工会打合せ		28年度(実績)									
・商工会の行う創業支援事業への支援		29年度(実績)									
・地域振興交流会の実施		30年度(実績)									
		31年度(計画)									
		ア 地域総合振興事業の実施回数									
		回									
		イ 経営指導員による相談及び指導数(経営革新、経営一般、情報化、金融、税務等)									
		件									
		2,196									
		1,763									
		1,280									
		1,199									
		2,200									
② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)		④ 成果指標名									
対象		単位									
・商工会		27年度(実績)									
・市内の商工業者		28年度(実績)									
・商工会自体の組織強化(財政基盤強化)を進める。		29年度(実績)									
・市内商工業者が商工会員となる。		30年度(実績)									
		31年度(計画)									
対象		ア 商工会員組織率(会員数÷市内商工業者数×100)									
		%									
		51.1									
		50.7									
		50.5									
		50.4									
		52.0									
対象		イ 地域振興交流会への参加者数									
		人									
		139									
		300									
		165									
		144									
		300									

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地			
		かなりある	ある程度ある	ほとんどない	
施策貢献度	大きい				
	普通				⑦
	小さい				
② コスト削減優先度評価結果		コスト比率			
		下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3	
評価結果	①				
	②				
	③				
	④⑤				
	⑥				
	⑦⑧				
	⑨				
		(7)			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況		☐完了☐順調☒概ね順調☐停滞☐実施困難																	
	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)																			
	② 成果の状況		成果指標ア	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	比較	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度		
			成果指標イ	成果指標イ	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	数値増＝成果向上	比較	27年度	28年度	29年度	30年度	31計画		
	【コメント】 (低下の場合、その理由)		ア 商工会退会者が加入者を上回ったため。 イ 参加者にとって魅力的な講師でなかった可能性がある。										成果動向	ア	イ	イ	イ	イ	イ	イ
													成果動向	イ	イ	イ	イ	イ	イ	イ
③ 今年度取組事項 (31年度に取り組む主な事項について記載)		時期	内容										今後の方向性	拡大 縮小		☒ 現状維持 ☐ 廃止・休止		☐ 見直し ☐ その他()		
		R1.10	講師の選定及び、イベントの周知についてより力を入れていく										R1.10頃			講師の選定及び、イベントの周知についてより力を入れていく				